

歴史的町並みを有する豊岡市出石町における 交通渋滞改善に向けた観光客の行動分析

～持続可能な観光地を目指す～

地域資源マネジメント研究科

元大学院生 たしたけいすけ 田下 敬介、○講師 やがさきたいよう 矢ヶ崎 太洋

キーワード

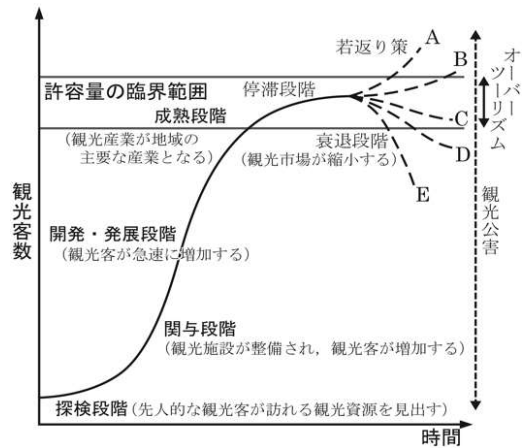
オーバーツーリズム、観光公害、観光地の発展、伝統的建造物群保存地区、交通渋滞、出石城下町、豊岡市

研究概要

観光産業は地域には大きな経済効果をもたらすことから、コロナ禍以前から日本は観光振興に取り組んできました。その一方で、観光客が過度に集中するオーバーツーリズムや、観光の負の側面である観光公害が発生し、社会問題となる地域もみられます。特に、農村地域における観光地では、公共交通ネットワークが十分に整備されていないことから、観光客は自家用車やレンタカー等を利用するため、交通問題が発生しやすい傾向にあります。本研究は、街路が狭く、住民の生活空間と観光空間が重なる出石城下町（伝統的建造物群保存地区）を対象として、統計解析や空間解析を用いて交通渋滞を分析し、その解消策について検討しました。



出石城下町の交通渋滞



オーバーツーリズムと観光公害の構図

アピールポイント

観光産業が生み出す利益と観光公害は概ね背反する関係性にあり、ちょうど良いバランスを模索することは観光地域の持続的な発展において重要な意味を持ちます。観光客を捕捉し、適切に分析することは、観光政策を実施する上で重要な判断材料になります。本研究は、観光客の行動や属性をアンケート調査で捉え、統計解析や空間解析などの数量的な解析を用いる点が見どころです。